

## 大分市立金池小学校 学力向上プラン1（8月）

	学力状況について	学習状況について
<b>児童生徒の課題</b>	<b>1 各種学力調査の分析結果から明らかになった課題</b> 5・6年ともに、国語、算数、5年理科すべての教科において、正答率は県平均、全国平均を上回り、5年においても目標値を超えている。しかし、領域別に見たとき、記述の問題や書く力を問う問題の正答率が低い。また、低学力層の児童が全体の10%ほどいる。	<b>1 各種学力調査の分析結果から明らかになった課題</b> 質問紙の回答からは、家庭学習の時間、学びに向かう姿勢など満足できる結果であるが、低学力層の児童が、学習意欲が低い傾向にある。
	<b>2 授業改善の検証指標に照らし合わせて評価した状況</b> ①自分の考えをもち、根拠を明らかにして書くことができる児童80%児童アンケート「課題に対して、自分の考えをもち、その理由を書くことができた」で満足できる児童が85%に達している。 ②友だちとの対話的な交流を通して、学びの深化・発展を実感できた児童80%児童アンケート「自分の考えを、クラス全体や近くの友達に話したり、友だちの話を聞いたりして、自分の考えを深めることができた」で満足できる児童が84%に達している。	<b>2 授業改善の検証指標に照らし合わせて評価した状況</b> 「ノートの取り方についての自分なりの工夫」や学びを生活に生かすことを問う設問では、肯定率が高い。自分の考えを深めたりグループで話し合ったりする活動に進んで取り組んでいると感じている児童も多い。発表することに自信を持っている児童も多い。
<b>指導の状況</b>	<b>1 組織的な授業改善の取組状況</b> 授業力向上部・学力向上部が「課題解決学習における学び合いの場の保障（子どもが学び合う授業づくり）」「教員の授業力向上」に向けて、取組内容を設定し、互見授業や授業の意見交換等を行い評価しながら重点的に取り組んできた。さらに今年度は、研修部がマネジメントしながら、教員の授業力向上の基礎力と教員同士が学び合う気持ちを醸成するために、自主研修日を設定し、意見交換を行っている。	
	<b>2 その他の学力向上に向けた指導の取組状況</b> 学力向上部で、児童により活用力・応用力を高めるための教材を話し合い、教材「アイテム」を全校で導入した。今年度当初に「アイテム」の扱い方を全教員で研修を行い、児童の活用力向上を目指し取り組んでいる。	

<b>学力に関する達成指標</b>	【達成指標】すべての教科で、単元末テストの平均点70点以上の児童を90%以上にする。 【検証指標①】児童学校評価アンケート「自分の考えをもち、根拠を明らかにして書くことができたか」の肯定率80% 【検証指標②】学習後の振り返りとして、友だちとの対話的な交流を通して、学びの深化・発展を実感できたと記述する児童80%
-------------------	---

